

【2021年度 FD・SD委員会 事業報告】(案)

FD・SD委員会

委員長校 : 神戸学院大学

副委員長校: 兵庫大学、神戸薬科大学

委員校: 芦屋大学、関西国際大学、関西学院大学、聖和短期大学、甲南大学、神戸海星女子学院大学、
 神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、神戸親和女子大学、
 神戸大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、頌栄短期大学、園田学園女子大学、
 園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫医療大学、兵庫教育大学、兵庫県立大学、
 兵庫大学短期大学部 計25校

<目的>

教職員の資質を向上させることを目的とした研修の機会を継続的に提供する。県下の大学等高等教育機関の関係者に研修交流機会を提供することにより、相互の立場で具体的な施策に結びつく議論が行われる、闊達な意見交換の場を創出する。

<内容>

- ・公開が可能であるFD・SDセミナーの情報を収集・提供する。
- ・コンソ加盟校教職員を対象とした大学教育に関する講演会を行い、コンソ加盟校教職員の資質向上を図るとともに、教職員間の交流を促進する場を提供する。
- ・専門的知識や大学での業務経験を有する者で、コンソ加盟校での就業を希望する者に、就業の機会を提供する。
- ・関西学院大学経営戦略研究科において開講する「大学運営」(2単位)を、コンソ加盟校の若手大学職員を対象として履修の機会を提供する。
- ・『内部質保証システム』構築に向けたIR推進に関するプログラムをコンソ加盟校のIR教職員を対象として開催する。

<期待される効果>

大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校教職員の資質向上に寄与し、加盟校の担当者間の情報交換・交流や加盟校間での人材交流を促進する場が提供できる。

実施プログラム名称		予算額
①	加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開	0円
②	加盟校教職員を対象とした大学教育等に関する講演会等の開催	400,000円
③	大学コンソーシアムひょうご神戸・人材バンクの活用	0円
④	「大学運営」に関する科目の受講支援	0円
⑤	『内部質保証システム』構築に向けたIRの推進	100,000円

【2021年度 FD・SD委員会 事業報告①】

課題	“ひょうご神戸”の特性を活かした教育力の向上			
達成目標	大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校教職員にFDおよびSDに関する情報を広く周知し、共有する。			
課題を解決する取組概要	大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校において、公開可能なFD・SDセミナーの情報を収集し、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校に開放する。			
活動指標	公開セミナー開催数:4件以上/年			
内容 (結果)	<p>【実施概要】 加盟校より件のFD・SDセミナーの公開に係る情報提供を行い、加盟校及びホームページへ公開を行った。</p> <p>【参加者数】 (情報の公開) 9大学1機関15件 (内訳) ・神戸薬科大学:2021年7月19日「遠隔授業の効果的な実施方法について(webclassの利用について)」 ⇒学内92名 加盟校1名 ・関西学院大学:2021年度第3クォーター土曜日第3時限「大学運営」科目 ⇒学内7名 加盟校3校4名 他大学8校9名 ・神戸松蔭女子学院大学:2021年9月10日 第2回FD研修会「ICTの導入による対面授業の活性化」 ⇒学内85名 加盟校4校4名 ・神戸学院大学:2021年9月6日 神戸学院大学薬学研究科主催FD講演会 第1回知の創造セミナー「アンメット・メディカル・ニーズと創薬」 ⇒学内51名 ・神戸親和女子大学:2021年9月8日 リテラシーとしての数理・データサイエンス・AI教育プログラムーデジタル社会の「読み・書き・そろばん」としてー ⇒学内114名 加盟校9校17名 関係機関1名 ・神戸学院大学:2021年9月30日 データサイエンス教育FDセミナー ⇒学内65名 加盟校8校16名 関係機関1名 ・大手前大学・大手前短期大学:2021年10月19日 大手前大学国際看護学部セミナー やさしい日本語～人間尊重のコミュニケーション～ ⇒学内72名 加盟校3校3名 関係機関2名 ・大学コンソーシアムひょうご神戸:2021年10月29日 大学コンソーシアムひょうご神戸主催 FD・SD企画「IR担当に指名されたら」 ⇒加盟校15校24名 関係機関2名 ・神戸学院大学:2021年11月2日 大学コンソーシアムひょうご神戸主催 FD・SDトップセミナー「オンライン授業の設計とBYODの活用を考える」 ⇒学内42名 加盟校12校18名 関係機関1名 ・神戸学院大学:2022年1月17日 神戸学院大学薬学研究科主催FD講演会 第2回知の創造セミナー ⇒学内48名 加盟校1校7名 他大学1名 関係機関1名 ・兵庫大学:2022年1月27日 HU高等教育研究センター2021年度 第1回公開講演会 大学における国際交流の現状と課題ー日本と中国の比較の視点から ⇒学内24名 加盟校1校2名 他大学1校8名 関係機関2名 ・大学コンソーシアムひょうご神戸:2022年2月22日 大学コンソーシアムひょうご神戸主催 「IRセミナー」 ⇒加盟校20校42名 関係機関3名 ・神戸大学:2022年2月22日 「数理・データサイエンス・AI教育 FDシンポジウム」 ⇒学内16名 加盟校10校36名 他大学31校46名 関係機関35名 ・神戸学院大学:2022年3月4日 ポーアイ4大学合同FD・SDセミナー 2030年に向けた私立大学の競争戦略～これからの魅力ある大学とは～ ⇒学内80名 加盟校12校37名 関係機関1名 ・神戸大学:2022年3月16日 2021年度神戸大学ダイバーシティフォーラム 男性の育児休業から考えるワーク・ライフ・バランス ⇒学内48名 加盟校3校6名 他大学1名</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	0円	0円	0円	

自己評価	【対到達目標】	4	【対継続性】	2
	<p>公開セミナーの件数は15件と当初計画を上回って達成した。 しかしながら参加される加盟校に偏りがあること、委員長校が取りまとめることで手続きが煩雑になってしまうことが課題であるとする。 次年度以降は大学コンソーシアムひょうご神戸事務局の協力を仰ぎ、広報や、公開セミナーの手続きについて見直しが必要であるとする。</p>			

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4:当初計画を上回って達成
- 3:当初計画を達成
- 2:当初計画をやや下回った
- 1:当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4:本プログラムは継続すべき
- 3:本プログラムは継続しても良い
- 2:本プログラムの継続には改善が必要
- 1:本プログラムは中止すべき

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	・リモート開催が定着し、計画を上回るセミナー公開ができた。今後、更なる加盟校からの参加を得るため、広報や手続きの改善を期待する。
----------------------------	--

【2021年度 FD・SD委員会 事業報告②】

課題	“ひょうご神戸”の特性を活かした教育力の向上			
達成目標	各取組への参加教職員数:300名(2021(令和3)年度までの延べ人数) ※本委員会が実施するFD・SDセミナー、研修会、講演会の参加教職員数を含める。			
課題を解決する取組概要	加盟校教職員を対象とした大学教育に関する講演会を行い、コンソ加盟校教職員の資質向上を図るとともに、教職員間の交流を促進する。			
活動指標	開催数:1回以上/年			
内容 (結果)	<p>大学コンソーシアムひょうご神戸主催FD・SDトップセミナー</p> <p>日程:2021年11月2日(火) 11:00~12:30</p> <p>場所:Zoom</p> <p>講師:岩崎 千晶氏(関西大学 教育推進部 准教授)</p> <p>テーマ:オンライン授業の設計とBYODの活用を考える</p> <p>参加者数:学内42名 加盟校12校18名 関係機関1名</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	400,000円	33,851円	366,149円	

自己評価	【対到達目標】	3	【対継続性】	2
	<p>今回のトップセミナーでは関西大学 教育推進部 教育開発支援センター副センター長 准教授 岩崎 千晶先生を講師にお招きし、オンライン授業の設計とBYODの活用を取り上げ、教育効果の高い授業実践について講演いただき、学内42名 加盟校12校18名 関係機関1名の参加があった。しかしながら、トップセミナーが本来の目的とする『加盟校の執行役員』の参加は委員長校のみであった。そもそも加盟校の学事暦が一樣ではないため、次年度以降は、従来の委員長校の一任でテーマや講師の選定を行うといった事業計画2のスキーム自体を見直し、2021年5月に実施された大学コンソーシアムひょうご神戸事務局からの中長期ヒアリングの際に副委員長校から提案のあった『スモール・グループ・ディスカッション』に焦点を当てるべきではないかと考える。そのためには副委員長校ならびに大学コンソーシアムひょうご神戸事務局の協力が必須である。</p>			

- | | |
|---|--|
| <p>■自己評価基準
(対到達目標)</p> <p>4:当初計画を上回って達成
3:当初計画を達成
2:当初計画をやや下回った
1:当初計画を下回った</p> | <p>■自己評価基準
(対継続性)</p> <p>4:本プログラムは継続すべき
3:本プログラムは継続しても良い
2:本プログラムの継続には改善が必要
1:本プログラムは中止すべき</p> |
|---|--|

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	<p>・新型コロナ禍の中、的を得たテーマでの開催を評価したい。一方トップセミナーに相応しい加盟校の学長、幹部クラスを対象としたテーマに回帰することを含めた方向付けをお願いしたい。</p>
----------------------------	---

【2021年度 FD・SD委員会 事業報告③】

課題	就業機会情報の提供			
達成目標	HPでの情報提供を求人情報に特化した内容に改修するとともに、HP利用者状況の実態を把握する。			
課題を解決する取組概要	大学教職員に限定した求人情報のポータルサイトに移行する。			
活動指標	・人材バンクアンケートの結果をふまえ、まずは大学教職員の求人情報提供に特化したHPに移行した上で、利用者状況を把握できるための方策を検討する。			
内容 (結果)	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤の大学職員求人情報に特化した内容にHPを改修し、認知度を高めることから始めた。 ・掲載校 神戸大学、神戸国際大学、神戸市外国語大学、神戸市看護大学 兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫教育大学 			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	0円	0円	0円	

自己評価	【対到達目標】	3	【対継続性】	1
	ニーズの定量的把握ができないため、効果を把握することが難しく新たな活動を展開することはせず、実施プログラムとしては2021年度で終了する。 また、HPについても運用を終了する。			

■自己評価基準
(対到達目標)
4:当初計画を上回って達成
3:当初計画を達成
2:当初計画をやや下回った
1:当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)
4:本プログラムは継続すべき
3:本プログラムは継続しても良い
2:本プログラムの継続には改善が必要
1:本プログラムは中止すべき

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	・新たに加盟校7校が「人材バンク」掲載できた。今後、定量的な把握を行い、より効果的な運用を期待したい。
----------------------------	---

【2021年度 FD・SD委員会 事業報告④】

課題	“ひょうご神戸”の特性を活かした教育力の向上			
達成目標	各取組への参加教職員数:300名(2021(令和3)年度までの延べ人数) ※本委員会が実施するFD・SDセミナー、研修会、講演会の参加教職員数を含める。			
課題を解決する取組概要	「大学運営」に関する科目の受講支援 プラットフォーム参画大学が開講する「大学運営」に関する科目の、プラットフォーム参画大学職員の受講を支援する。			
活動指標	「大学運営」科目の継続開講			
内容 (結果)	1)「大学運営」科目概要 ・科目名称:大学運営 ・開講日程:2021年度第3クォーター土曜日の13:00～16:00 2)受講状況 ・加盟校から4大学・11名が受講。			
新しい試み等 (事業計画に記載)	特になし			
事業収支	収入	支出	収支	備考
	0円	0円	0円	

自己評価	【対到達目標】	3	【対継続性】	4
	受講者の満足度が高く、高度な内容との評価が得られているため、来年度の開講に向けても引き続き加盟校への広報を行っていききたい。			

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4:当初計画を上回って達成
- 3:当初計画を達成
- 2:当初計画をやや下回った
- 1:当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4:本プログラムは継続すべき
- 3:本プログラムは継続しても良い
- 2:本プログラムの継続には改善が必要
- 1:本プログラムは中止すべき

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	・加盟校4校から受講があり、加盟校のニーズに則している。高度な内容で受講者の満足度も高く、引き続き事業を行って頂きたい。
----------------------------	--

【2021年度 FD・SD委員会 事業報告⑤】

課題	加盟校における「内部質保証」の充実			
達成目標	加盟校各校での学内の意味あるデータを収集・集計(・分析)し、エビデンスに基づいた教育の改革・改善につなげることに向けIR推進のきっかけづくりを行う。			
課題を解決する取組概要	IR活動の先進校における取り組みの紹介やディスカッションを通じたセミナー開催や、具体的なツール勉強会を定期的に開催する。			
活動指標	セミナー等開催数:2回/年			
内容 (結果)	<p>(1)IRセミナー 日時:2022年2月22日(火)オンラインZOOMにて開催 講師:第1部 関西国際大学 評価センター長 藤木清教授 「学生支援型IRの取組み」 第2部 兵庫大学 IR推進室 副室長 鷹尾和敬氏 「兵庫大学におけるIRの取組み」 参加:加盟校20大学 42名参加</p> <p>(2)IR勉強会「IR企画『IR担当』に指名されたら」 日時:2021年10月29日(金)オンラインZOOMにて開催 講師:甲南大学 深堀太博氏、関西学院大学 永井良二氏、神戸学院大学 藤野津芳氏(司会) 内容:第1部 深堀氏によるIRについての講演および新担当者溝端氏による体験談 第2部 事前アンケートに回答する「実務・実践ディスカッション」 勉強会フォローアップとして12月20日(月)に初心者対象に相談会を開催。 参加:加盟校15大学 24名参加</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)	・2021年2月に初めて開催したFD・SD座談会「内部質保証システム構築のためのIRの推進」を踏まえ、2021年度よりFD・SD委員会の事業計画プログラムのひとつとして実施する。			
事業収支	収入	支出	収支	備考
	100,000円	42,440円	57,560円	

自己評価	【対到達目標】	4	【対継続性】	4
	<p>・活動指標である年2回開催の達成(予定)に加え、IR勉強会「IR企画『IR担当に指名されたら』」の参加者より、初心者を対象としたスモールグループでのフォローアップ勉強会の要望があり、12/20で開催することが決定した。</p> <p>・加盟校からのフォローアップ勉強会への申込者数は増えており、自学のIR推進にあたり、他の加盟校と連携して内部質保証に対応していく加盟校からのニーズに貢献できたと思う。</p>			

- | | |
|--|---|
| <p>■自己評価基準
(対到達目標)</p> <p>4:当初計画を上回って達成
 3:当初計画を達成
 2:当初計画をやや下回った
 1:当初計画を下回った</p> | <p>■自己評価基準
(対継続性)</p> <p>4:本プログラムは継続すべき
 3:本プログラムは継続しても良い
 2:本プログラムの継続には改善が必要
 1:本プログラムは中止すべき</p> |
|--|---|

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	・新たに内部質保証構築に向けたIRの取り組みを実施し、加盟校のニーズに貢献した。今後、さらにセミナーと勉強会を通じて加盟校でのIR担当者間のネットワークを構築して頂きたい。
----------------------------	--